

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) (1) 発達記録表、KIDS、子育てファイルふくいっ子をつけることで発達を理解し、職員間で共有する。	(1) ◎	KIDS、子育てファイルふくいっ子は保護者との懇談にも用いることで発達を共通理解することに役立っていた。
		(2) 行事の後に反省評価を行い、又保護者にはアンケートを行い、その意見を踏まえて次回に活かす。	(2) ○	
		(3) 保育カウンセラー訪問を2回実施し、ケース検討を通して子どもの発達状況や特性を理解する。	(3) ○	ケース会議後には、全職員に伝達研修をし、子ども理解に努めた。
		(4) 衛生や安全に関する研修や講習会に保育士が参加し、受講後は伝達研修を行い周知徹底する。	(4) ○	
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 研究指定園として療育の学びを広げ、通常保育に活かしていく。	(5) ◎	昨年度の課題を元に学びを深め、環境設定など通常保育にも療育的視点を取り入れることができた。
		(6) 運営管理、教育・保育、子育て支援に関する国及び県内外の動向情報を収集し、園運営に活かしていく。	(6) ○	
		(7) 研修開催案内の情報収集や提供を行い研修意欲を高め、職員が積極的に研修に取り組めるようにする。	(7) ◎	オンライン研修などもあったことで、より多くの職員が研修に参加できた。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 保護者の悩みや不安、子への困り感等には、連絡帳や送迎時の対話等で情報交換し、必要に応じて個人懇談を実施する。	(8) ◎	
		(9) 特別な配慮を必要とする家庭や保護者と懇談を行い、情報を共有し、個別に丁寧な支援を行う。	(9) ◎	
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放の日時の情報提供を行う。	(10) ◎	感染症が少なく、開催計画すべて実施できた。
		(11) 福井市の子育て支援に関する情報を提供する。	(11) ○	一時保育や病児保育を行う事業所の紹介をした。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(12) 園開放を通して、地域の子育て家庭の相談を受ける。	(12) ◎	園開放以外に、園見学も1年中多いので、対応に追われた。
		(13) 健康管理センターと連携を図り情報を共有していく。	(13) ○	
		(14) 環境浄化活動に参加し、地区内の危険箇所点検を実施し、保護者にも周知していく。	(14) ○	地区内での危険箇所について知ることができ、園外保育の際に役立ることができた。
		(15) 保育カウンセラー訪問時に小学校教諭に参加してもらい、情報を共有し、移行支援等につなげる。	(15) ○	
	地域の教育・保育機能を強化します	(15) 保護者と共にサマリーシートを作成し、就学先の小学校と移行支援を行う。	(16) ◎	サマリーシートの目的について保護者に知らせ、必要に応じて作成し、移行につなげることができた。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(17) 公民館で開催する行事に積極的に参加する。	(17) ◎	
		(18) 地域の方と畑や花壇などのお世話を通して触れ合い、園の情報を発信していく。	(18) ○	園庭の畑・果樹・花木の世話を通して、地域の情報収集もできた。
	子育て文化につながる活動を広げます	(19) 地域連携会議等で保育園での活動等について伝える機会を持つ。	(19) ○	
		(20) 地域の方による絵本の読み聞かせを実施し、子育て支援活動を広げる。	(20) ○	
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(21) 地域の夏祭りや文化祭、自然体験等に参加する。	(21) ◎	コロナ感染症も5類になり、参加できる活動が増えた。
		(22) 研修に参加し、社会の動向や園の在り方について知る。	(22) ◎	特に不適切保育や防災研修には積極的に参加でき、全職員に伝達・周知できた。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(23) 保育研究合同発表会で一年間の園での研究を発表する。	(23) ◎	今年度は動画も取り入れて、療育教室のことをより具体的に知らせることができた。
		(24) 保小合同研修を開催し、情報交換を行う。	(24) △	今年度は開催できなかったが、情報交換はその都度行った。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。